

米子市災害ボランティアセンター  
～災害ボランティア活動の記録～

平成12年10月7日～

平成12年10月15日

米子市ボランティア協議会

米子市福祉保健総合センター

「ふれあいの里」内

米子市錦町1丁目139-3

米子市災害ボランティアセンター本部～災害ボランティア活動記録1日目

\*10月7日(土)

- 04:00 米子赤十字奉仕団砂口さんより別所会長宅に、炊き出しの準備にはいるとのTELあり  
別所会長から各委員長に連絡(サポートできるグループは集合するように)
- 06:00 別所会長センター到着  
災害ボランティアセンター(以後センター)立ち上げ  
市内各避難所の避難人数461人(全32カ所中22カ所)  
(6:00確認)
- 07:00 炊き出しスタンバイ  
市の植田課長にTELする。炊き出しの準備はできたが必要か否かを聞く。  
返答:昼食用に400人分依頼する
- 07:30 神崎氏より～日野町の家屋サポート要請あれども「米子は自分の事で手がまわらぬ」と返事
- 08:00 炊き出し50人分できる。400人分用意予定「配送役は市職員」と確認
- 09:15 市農政課長より「お茶は?」→ないと返事する
- 09:30 市政記者クラブ / NHK、BSSにセンター立ち上げを報告
- 09:00 市内各避難所の避難人数360人(インターネット情報にて確認)
- 10:15 朝日新聞社 中川記者取材
- 10:30 米子JCさんよりカニメシ提供の話あり。市に仲介する。市が受けるとの返事  
約400食夜食に提供 各避難所へ
- 10:45 新日本海新聞社 高塚記者取材
- 11:00 ライトハウスに50食渡す。家庭訪問用非常食
- 11:10 中国新聞社 長田記者取材
- 11:15 県社協到着(11人)
- 11:20 炊き出し240食分 市持ち帰り
- 12:00 米子青果市場さんよりバナナ500人分提供のTEL→センターで受け入れ
- 12:15 盧川氏より電話あり 根雨の要望をファックスしたい
- 12:45 炊き出し50個追加要請
- 12:55 青果市場さんからバナナ到着15ケース(500人分)
- 13:15 西伯町に埼玉よりボランティアが一人到着

- 13:25 中川さん報告～視覚障害者50人に非常食配布 水道水が濁っていて炊飯が出来なかったので大変に喜んで頂けた様子（別欄詳細）
- 13:30 市内各公民館へ避難者の実体をTELで聞く  
またその人たちの要望についても伺う
- 14:00 市内各避難所の避難人数224人（全32カ所中21カ所）  
(13時現在確認)
- 14:15 西部総合事務所農業振興課渡辺さんより電話あり  
米子高島屋より物資提供の意志ありとのこと。早速高島屋にTELして物資受け入れを希望する旨伝える
- 14:30 福米東地区の高齢者世帯の方から電話あり。内容は奥様は足が悪く、避難場所に移動困難。健康状態は良好。しかし、夜になると不安になるということで、付き添いや話し相手を希望。公民館に連絡を取り、福米東地区社協の在宅福祉員さんに連絡を取ってもらい、夜中付き添いはできないかもしれないが、2、3時間おきの電話連絡をしていただくよう、対応。  
以後、心のケア等に関しては、各地区在宅福祉員に依頼していく方針  
長寿社会課で担当
- 14:35 近隣地区の情報  
日野町の避難所で屋根が落ちる危険性がある  
溝口役場庁舎が建物調査で危険と判断され、みな移動中  
境港市で、家屋が倒壊した方より、仮設住宅の希望がでてきている
- 14:40 高島屋さんから電話あり。西部地区の広い範囲で物資の提供希望→センターで受け入れして後配布すると返事
- 15:00 本部体制打ち合わせと再確認 夕方から夜にかけての体制確認  
夕食はカニメシが各避難所に配布される予定
- 16:25 高島屋さんよりパン500個、お茶500本を翌朝ふれあいの里倉庫まで持ち込まれると連絡有り 出発時に連絡あり
- 16:40 高島屋さんより明日のパン搬入は午前7時半の予定とのこと  
配布方法はすべてセンターに任せる
- 16:45 明朝7時半に市職員課が取りに来てそれぞれの避難所に配布することに決まる
- 17:00 大阪の女性より電話あり  
～何かお手伝いすることはないかという問い合わせ  
現状では地元のボランティアで対応している。大きい余震があった場合にはお願いしたいと伝える
- 17:05 NHKボランティアネット事務局（星野さん）より電話あり  
～何か必要なことはないか？という問い合わせ

現状では地元で対応している。今後必要になったときにはお  
願いしたいと伝える

\*NHKボランティアネット 03-3481-1817  
03-3485-4582

- 17:30 毎日新聞社 森田記者取材
- 17:45 市内各避難所の避難人数224人(16時現在インターネット情報)
- 17:50 朝日新聞社 小池記者取材
- 17:55 ボランティア活動希望の方(土日のみ)から電話あり  
～現状は各避難所からの要望もなく活動には至っていないと伝える
- 18:00 各避難所になっている公民館数カ所に電話  
食事が届いているか、避難されている方の数を確認  
数はかなり減ってきている  
夜になると増える可能性あり
- 18:15 カニメシがセンターに到着
- 18:40 市内各避難所の避難人数変化なし(17時現在インターネット情報)
- 18:45 広島RBの3名が日野町のボランティアを終えてセンター到着
- 18:50 松江RBの1名センター到着
- 18:55 日野町の被害が大きいと連絡あり  
翌日のボランティア募集中とのこと
- 19:10 東照寺さんが情報を欲しいとのこと(東照寺ファックス27-4202)  
日野町のボランティアの情報をファックスして、日野町に向かっても  
らう
- 19:15 中海テレビに日野町のボランティアの情報をファックスにて送信
- 19:30 日野町のボランティアについては、日野町に直接連絡してもらうことに決  
定 連絡先 0859-72-1300  
日野町文化センター ボランティア窓口へ
- 19:50 市内各避難所の避難人数294人(全33カ所中25カ所)  
(18:30現在インターネット情報)  
夜になり、やはり人数が増加している様子
- 20:00 米子市総務課 来センター 打ち合わせ 岩崎係長
- ・明日以降炊き出しはしない
  - ・県外者のボランティア受け入れについて
    - 県外への呼びかけは積極的には行わない
    - 米子市としては余震など、二次災害の際にはお願いすることになるだろう
    - 現在の段階では米子市内より日野の方へ行っていただく方がいい

いのではないか

- ・市からの情報がうまく伝わって来ないので、情報を流れるようにしてもらいたい

- 20:15 山形からボランティア希望の方到着の連絡あり センターに来られるとのこと (市対策本部より)
- 20:30 ろう連70人の安否確認 家庭訪問に6件あとはファックス連絡
- 20:35 山形からのボランティアがセンター到着  
千川原 (ちがはら) 公彦さん (山形創造NPOネットワーク)
- 21:20 大阪の学生さんよりボランティア希望の電話あり  
ボランティアを必要としている日野、根雨を紹介する
- 23:00 市内各避難所の避難人数295人 (全33カ所中25カ所)  
(21:00現在インターネット情報)

米子市災害ボランティアセンター本部～災害ボランティア活動記録2日目

\*10月8日(日)

- 04:00 別所会長待機…
- 04:45 植田総務課長と相談 高島屋さんのお茶200本を日野町に持っていく  
ようにする (後に西伯町に変更)
- 05:00 県社協 山本以下3人日野町に出発
- 05:30 総務課矢野さんより電話あり 前夜田村君に話した件(ブルーシートか  
け)は対応がまだなので待つて欲しいとのこと
- 06:55 市内各避難所の避難人数311人(全33カ所中23カ所)  
(06:00現在インターネット情報確認)
- 07:10 高島屋さんよりパンが到着 米子市が避難所へ配るため引き取る
- 08:00 西伯町に電話 西伯町ではかなり大変な状況であることを聞く(担当陶山  
氏)  
ボランティアやコーディネートの必要性あり  
西伯町を重点に取り組むことに方向転換する
- 08:30 急遽、日野に行く予定のボランティアを西伯町に変更、ボランティアセン  
ターに向かわせる
- 08:35 市内各避難所の避難人数301人(全33カ所中23カ所)  
(07:00現在インターネット情報確認)
- 08:40 RB部隊西伯町へ出発 差し入れのバナナとお茶も運ぶ  
(RBは、米子、広島、鳥取、山形ボラ12名)
- 08:45 上福原の方より電話あり  
～屋根にビニールシートをかけて欲しいとのこと  
→シートについては米子市対策本部へということで、連絡を入れ  
る
- 西伯町現地対策本部 陶山さんより電話あり  
携帯を準備したとのこと  
番号 090-7504-5014
- 08:50 西伯町のボランティア募集のチラシをファックスにて送信  
・NHKボランティアネット  
・中海テレビ
- 09:20 米子RBの一名が来センター 西伯町に向かっていたく
- 09:35 NHKボランティアネットから電話あり  
早速ネットに掲載するとのこと

- 09:50 真如苑米子支部さんへ西伯町ボランティア募集のチラシをファックスで送信
- 09:50 米子JCさん来センター  
JCさんに西伯町へのボランティア派遣を依頼
- 10:00 西伯町に到着したRBから連絡あり  
続々ボランティアが入ってきているがボラ保険をどうするのかということ→米子市ボラセンで統括して引き受けることに決定（以後、各市町村にての引受に変更）
- 10:20 西部生活生協 松ノ木さん なるべく今日、チームを作ってボランティアに来るように進めてみるとのこと
- 10:30 本部打ち合わせ  
①西伯町への仲介、対応について  
（別所、田村、工藤）  
②米子市への対応  
・家財の片づけ（中川）  
（ブルーシートは市対応につき、市へ仲介 米子市では業者に依頼する方向）
- 10:35 情報  
シルバー人材センターに60歳くらいの方がおられるが家の片づけ等のボランティアでお願いできないだろうか。→今後の検討材料
- 10:45 真如苑 石川さんが4名を連れて西伯町に向かう
- 10:55 中海テレビ 木村記者取材あり
- 11:00 NHKボランティアネットにボランティア募集掲載
- 11:20 情報  
西伯町に続々とボランティアが集まってきている様子  
雨が降ったため危険なので屋根に登る作業は止め、家周りや家の片づけなどの作業を行ってもらっている
- 11:30 米子JCさん4名西伯町へ向かう
- 11:45 天理教ボランティアさん4名西伯町へ向かう
- 12:00 青谷町社協2名到着
- 12:10 屋根がズレ落ちかけているという方が、市対策本部に電話されたら、こちらのセンターを紹介され許可を得たということで電話あり→しかし屋根の関係はすべて市によって業者にて対応するというものはず 再度対策本部と再確認
- 12:15 西伯町のボランティアの保険に関しては、すべて西伯町で対応することに決定

- 13:10 ボーイスカウト鳥取連盟西部地区 指導者10名が西伯町に向かう。
- 13:15 市内青木 市営住宅の母子家庭のお宅で家財の片づけができないということで、ボランティア4名派遣
- 13:25 市内のボランティア希望の方より電話あり  
センターに来ていただくように説明
- 13:45 ボランティア希望の方3名来センター うち一名は愛知から
- 14:05 ボランティア希望の方より電話あり  
センターに来ていただくように説明
- 14:10 情報  
西伯町ではほとんど仕事がない状況になってきている様子  
天理教のボランティアの方々も他(日野町)へ向かう様子
- 14:15 ボランティア希望の方より電話あり  
中学一年生 何か仕事があるかとの問い合わせ  
現在は雨も降っており、危険な作業が多いのでお勧めできない  
明日になればあるかもしれないと返事  
落ち着いたせいか、広報が広がったのか、急にボランティアの問い合わせが多くなってきている
- 14:20 日新公民館より電話あり  
屋根のシート張りを依頼される 現在雨も降っており、屋根上の作業をボランティアに勧められないので、市の本部に連絡して見てほしいと返事
- 14:25 市内青木 市営住宅家財片づけ終了の連絡あり
- 14:30 ボランティアの移送手段の体制を作る必要ありか?
- 14:45 待機中のボランティア希望者西伯町へ向かう  
西伯町では現在はボランティアを必要としていないが、現地に行ってみたいという強い希望から、とりあえず行ってみることにする。
- 15:00 市内各避難所の避難人数85人(全19カ所中13カ所)  
(12:00現在インターネット情報確認)
- 15:15 健康対策課から避難されている方(自宅は米子市永江東地区)が血圧高くなったため病院に行きたいが、家財が散乱して、保険証が見あたらない。一人では探しに行けないので、誰か来て欲しいということでボランティア派遣の打診あり→保健婦さんが様子を見に行くことに決まる
- 15:20 西伯町から情報(対策本部 須山氏) 日野の国道が止まった  
西伯町からの問い合わせ 義援金についてどうするか  
町独自では無理なため、日赤、共同募金、NHKで募集される。  
口座開設の関係で、10日くらいからの募集になるであろう。

また、その他にもボランティア活動資金に対応するもので、長期のボランティアに対応するというものもある。

- 15:30 上記保健婦さん2名で様子を見に行く
- 15:35 鳥取県生協西部支所さんより大きな荷物を運ぶようなことがあれば、トラック提供の準備ありとのこと 電話番号22-1004 (杉谷さん、又は下場さんまで)
- 15:45 鳥取県庁より電話あり 愛知県から来られた2名が今からセンターに向かうが受け入れてもらえるかとの問い→どうぞ!
- 16:20 NHKと中海テレビに今日のボランティア受け入れ終了の連絡をファックスにて送信
- 16:25 各市町村に明日のボランティア紹介の必要性を問うファックスを送る
- 16:30 屋根ボランティア紹介依頼の電話あり→市を紹介
- 16:40 永江の方の様子を見に行かれた保健婦さんが戻って来て報告  
家の片づけは終わっていた ボランティア必要なし
- 16:45 西伯町からボランティア協議会防災委員長の辻さんが戻り情報提供  
RB、西伯町赤十字奉仕団が活躍  
男性はシートかけ、女性は炊き出しの作業をした  
10軒のうち半分はシート (山の上に上がれば上がるほど)  
ボランティアに対する対応としては食事はお茶も十分に用意されている  
ボランティアの必要性 男性何名必要と各所から要求が入る  
溝口町には大阪、根雨には米子市が入っている
- 17:00 岸本町から電話あり ボランティアの手は足りているから大丈夫とのこと  
夕方より地元からのボランティア希望電話が多くなってきた  
西伯町に行った際には中央公民館に車を止めた方がベターの情報入る
- 18:30 米子JC理事長米センター  
JCさんの明日の動きについて、別所会長と打ち合わせ
- 19:15 日新公民館から電話あり  
\*独居老人や母子家庭の世帯で家具が倒れ、住めない状態である。  
ボランティアで対応してくれないか。明日、また電話する。  
\*同じ青木団地で今朝、同じような依頼があり対処したが、全く同じような居住空間の並ぶ市住、県住の部屋の中の参上を思うと寒気がする。  
\*早速、調査に田村、前田の両名を向かわせる。(出発は20:00前)
- 19:30 RBの人が西伯町に宿泊するため荷物を取りにいったん帰センター
- 19:40 西伯町の登録ボランティア数は109名となっている模様

- 20 : 15 西伯町の9名が帰センター  
明日の打ち合わせを行い、解散  
明日は青木団地の調査などを行うことを考えて、9時に出発できるよう集合したいことを確認しあう。
- 20 : 45 調査に行った田村、前田より連絡が入る  
青木団地は全部で223世帯あり、4世帯が独居老人。その4世帯から自治会長が要請を受けている また、母子家庭が数多くあり、今後問題が大きくなる可能性がある 床が抜けているなどの情報も入ってきたという これでとりあえず帰センター
- 21 : 00 各避難所の避難人数193人（全15カ所中15カ所）  
（18 : 00現在インターネット情報確認）
- 21 : 05 この時間になっても他県からのボランティア希望の電話が数件入ってくる  
また、大きな余震もあり、今後の注意が必要！
- 21 : 20 現在でも50名以上が避難している、尚徳小学校に電話確認  
何か手伝いを必要としている方がいれば、連絡をくれと伝える
- 21 : 30 尚徳小学校では特に手伝いを必要とされる方はいないという連絡あり
- 21 : 35 センターのあるふれあいの里に、避難者が来られる  
ふれあいの里でも避難される方を受け入れる模様  
午後9時に発生した震度5クラスの余震の影響で不安になられた方が多く、これから避難所の人数が増加するものと思われる
- 22 : 00 センターのあるふれあいの里大会議室及び、1階のロビーはソファをベッドにして多数お休みになられている…。余震はまだまだ続くのか…。

米子市災害ボランティアセンター本部～災害ボランティア活動記録3日目

\*10月9日(月)

- 06:00 市内各避難所の避難人数590人に3倍増  
(昨夜午後9時前の震度5クラスの余震の影響と思われる)  
避難所は新しく避難所になったふれあいの里を含め22カ所  
(06:00現在インターネット情報)
- 06:30 鳥取県は現在、全域大雨雷注意報
- 06:40 日新公民館に電話する  
9時過ぎにボランティアを向かわせる旨を伝えておく
- 07:00 鳥取県に大雨洪水警報発令
- 07:20 土嚢を簡単につくるメーカーさんより電話あり  
とりあえず日野町を紹介する
- 07:30 別所本部長が健康対策課細田係長と打ち合わせ  
本日戸別訪問を行うが、何か問題があった場合には、対策課の方へ  
連絡して対応するというを確認
- 07:40 岩国市教育委員会 中央公民館主事 佐伯さん他2名到着
- 08:00 香川県から若い男性から「ボランティアに行く」という電話あり
- 08:05 米子市河崎の住民でどこに避難したらいいのかという電話あり
- 08:45 日南町の方から電話あり  
土砂が崩れたのでという話し  
→日南町の役場に連絡するように伝える
- 08:55 高齢者の女性から依頼 ボランティア4名派遣  
避難所から自宅への搬送と屋内の危険排除作業  
(転倒タンス等の移動、整理)
- 09:10 青木団地調査第一班センター出発、中川研修委員長に現地での対応を任せる
- 09:20 米子J.C瀬尾さんより、おにぎりの差し入れあり
- 09:25 高齢者送迎ボランティア帰センター
- 09:45 青木団地調査第二班センター出発(5グループ25名)
- 10:55 現在ボランティア31名 BS指導者15名現地に出勤中  
青木永江団地の市営住宅県営住宅
- 11:05 屋根シートをはってほしいとの依頼電話  
危険なためボランティアでは屋根上の作業は行わないという話しで昨  
日から決まっているのに、未だに電話があるため、対策本部に再度確  
認の電話(対策本部から紹介されたい…)

- 11:15 真如苑ボランティア部隊20名日野町に向かう
- 11:20 今日になって、西伯町と日野町にボランティアが少ないという情報あり
- 11:25 青木の調査を行った班のうち、担当箇所を終えたボーイスカウト15名は西伯町に行ってもらふことにする
- 11:30 青木団地調査班が戻り始める
- 11:40 ボランティアの不足している根雨に午後から15名派遣を決定
- 12:00 青木の状況報告  
 全体の半分くらいが在宅中 ほぼ自力で片づけている  
 しかし、4.5階の人は、余震が続いているため、またくるかもしれないということで、まだ片づけないでいる  
 不在者は避難所に避難中か、親戚などの所に避難中
- 12:30 「米子市災害ボランティアセンターニュース」第1号発行  
 今後予想される混乱を整理し、正確な情報を伝えていくことを目的にして、ニュース発行を開始 1日2回のペースを予定  
 NHKボランティアネット、中海テレビ、市政クラブへファックス送信
- 12:35 安倍・彦名団地、河崎公民館の調査スタート
- 13:25 上福原のブロック塀が倒れ掛けているので、何とかしてほしいという電話あり  
 物資などが不足していれば送りたいがという問い合わせの電話あり
- 13:30 河崎住宅の自治会長さんから電話あり  
 こちらを調査している人間の名前を教えてくださいという電話がある  
 なぜならサギ師がいるからとのこと  
 →うちからのボランティアは是認スタッフジャンパーを着ているのでそれを証明書と思って下さいと伝える
- 14:10 曹洞宗青年部さんより電話あり ブルーシートはりも大丈夫とのこと  
 明日から情報を取り次ぐことに決定  
 大山町岡田組さんより電話あり 13日(金)と14日(土)に会社としてボランティアに取り組みたいとのこと ブルーシート対応もOK
- 15:00 広江病院よりパン480個提供あり
- 15:05 ボランティア希望者7名黒板へ
- 17:00 米子市災害ボランティアセンターニュース第2号発行  
 NHKボランティアネット、中海テレビ、市政クラブ、NHK松江放送局、FM山陰、県広報課へファックス送信

本日のボランティア総数 地元65名 市外20名

米子市災害ボランティアセンター本部～災害ボランティア活動記録4日目

\*10月10日(火)

- 08:30 今後のボランティアセンターについて打ち合わせ  
①米子市災害ボランティアセンター 別所会長  
②米子市役所(対策本部) 植田課長・矢倉課長  
③米子市社会福祉協議会 亀山事務局長  
④鳥取県社会福祉協議会現地対策本部 横山次長  
の4人が、米子市災害ボランティアセンターを運営する  
センターには「ボランティアニーズボード」を設置  
ニーズの内容をボードに貼り付け、ボランティアの方々に自ら選んで  
頂いて作業をするというシステムをとる。ハローワークシステム  
ボランティアの希望者にはすべて必ずセンターに来ていただくことに  
する。TELでの指示はしない。保険のこともあり。
- 09:00 ニーズの電話が多く入ってくるようになる
- 09:45 夜見町に庭の石直し  
50 隣の地域リハビリテーションセンターの電話を使えるようになる  
電話番号 0859-23-5457(内線202)
- 10:00 市内各避難所の避難人数249人(全19カ所)  
(6:00現在インターネット情報確認)  
米子市内、墓石のずれを修正に
- 10:10 NHKボランティアネットより電話あり  
→今日の情報と今日からのシステムを伝える  
すぐにホームページに掲載してもらう  
30 ボランティア要請の電話内容に墓石の修復が増加している
- 10:35 米子市灘町、戸の修理
- 10:55 米子市寺町、寺町、瑞仙寺内の畳拭き作業
- 11:20 祇園町、部屋の片づけ
- 11:22 寺町、瑞仙寺内の畳拭き作業
- 11:28 寺町、瑞仙寺内の畳拭き作業 13:00帰着
- 11:30 中海テレビ取材  
瑞仙寺(ずいせんじ) 寺町へ出発  
祇園町、部屋の片づけ
- 11:35 共同通信取材
- 11:36 西伯町役場、瓦礫の撤去作業

- 13:30 第一住宅設備よりブルーシート掛けボランティアしますとのTEL  
午前中に溝口町の森田さんよりの依頼を伝え、対処してくれるようにする。  
依頼内容：倉の廂の瓦が落ちかけていて危険、柱をひっぱれば落ちると思  
うので落としてほしい。溝口町に連絡したが独居老人優先で対応してくれ  
ない。
- 13:30 朝日町、部屋の片づけ
- 13:40 墓を直してくれとの依頼に断りの電話を入れる 二次災害の危険があるた  
め
- 14:35 市内各避難所の避難人数85人（全17カ所のうち収容箇所11カ所）  
（12:00現在インターネット情報確認）  
待機中の男性4名西伯町へ
- 14:40 西伯町、窓ガラスの取り替えや地割れの補修、排水路の掃除  
西伯町役場、用水路の障害物除去作業
- 15:00 「米子市災害ボランティアセンターニュース」第3号発行  
各所に送信
- 15:30 今日からふれあいの里のシャワーが使えるようになる
- 15:30 県社協より情報：第一住宅は西伯町でトラブルをおこしている。  
ボランティアのふりをして、後程の全面改築を迫っているようだ。  
この業者へ斡旋も含め業者への対応に気をつけるように張り紙する。
- 16:00 第一住宅よりTEL 溝口の件は瓦を取りのぞいておいた。とのこと。  
他にニーズはないかとのTELに現在のところなしと答える。
- 16:15 角盤町、部屋の片づけ
- 16:30 安倍彦名団地 泥の除去作業
- 16:45 液状化の処理に困る  
明日への継続作業として残す  
処理は市へ依頼
- 17:50 溝口町森田さんより一応の対処をしてもらったとの返事あり。  
あとで改築等の交渉があっても断るように言う。
- 19:20 市内各避難所の避難人数135人（全17カ所うち収容箇所14カ所）  
（19:20現在確認）
- 20:00 「米子市災害ボランティアセンターニュース」第4号発行  
各所に送信

以後、ボランティア希望の電話数件

22:00 市総務部長中原氏来センター

- ①米子市が自治会に依頼し、実態調査を始めた
- ②結果が出るのは12日正午である
- ③どんなニーズがどれだけでるか見当がつかない
- ④ボラセンでも対応を強化してほしい

了解の返事をする。但し、米子市ももっとボラセンに協力体制をとって  
くれないと、職員とボラとの間に溝ができる。協力しあえる体制づくり  
を要請する。

米子市災害ボランティアセンター本部～災害ボランティア活動記録5日目

\*10月11日(水)

- 08:30 ボランティア受付場所を隣室のリハビリセンターに開設。米子市(健康対策課)、米子市社会福祉協議会、鳥取県社会福祉協議会現地本部とボランティアの共同体制が確立し、和やかな雰囲気になる  
ボランティア希望の3名東京から来訪
- 08:50 市内各避難所の避難人数259人(全19カ所うち収容箇所17カ所)  
(23:00現在インターネット情報確認)  
日野町へ3名 泥の除去作業 10:30帰着
- 09:10 ボランティア合計14名
- 09:30 市の実態調査の結果に備え、他団体への呼びかけチラシを作成する 「復旧ボランティア大作戦」の立ち上げ  
問題はニーズとボランティアのバランスがとれるかが心配される  
3名が米子市灘町へ 小屋の片づけ作業 13:00帰着
- 09:45 情報(鳥取県西部地震ボランティア活動情報より)  
被害状況  
①人的被害 負傷者95人  
②建物被害  
住居:全壊70戸(39戸)、半壊171戸(102戸)、屋根等軽微な損害2573戸(1702戸)  
公共建物:66施設(62施設)  
文教施設:219施設(204施設)  
病院:一部損傷により患者が避難した病院3病院(3病院)  
文化財:損傷32施設(32施設)  
③ライフライン 水道(断水)165戸(240戸)  
④住民避難 避難施設数41施設561人(63施設2104人)  
⑤交通 空港:米子空港 全便欠航(11日に運行再開予定)  
JR:伯備線(10月10日午後以降運転再開予定)
- 09:50 ボランティア5名、西伯町へ向かう  
米子市内へ3名 散乱した家財の片づけ作業 12:15帰着
- 10:05 富士見町へ4名 瓦礫の片づけ作業 11:10帰着
- 10:10 米子市内へ7名 泥の除去作業 11:45帰着
- 10:45 西伯町へ5名
- 11:00 ボランティア合計40名

- 11:30 灘町3丁目へ8名 ゴミの搬出作業
- 12:00 「米子市災害ボランティアセンターニュース」第5号発行  
各所に送信
- 12:45 日野町文化センターへ3名 瓦礫の片づけ作業 20:20帰着
- 12:50 日野町文化センターへ3名 日野中学校に宿泊 明日も継続  
日野町文化センターへ3名 土嚢運び 20:20帰着  
日野町へ1名 畳運び、土嚢運び、道路のシート張り 18:25帰着  
日野町へ2名。20:20帰着  
日野町へ1名。20:20帰着
- 13:00 西伯町へ15名派遣
- 13:30 鳥取県議団の視察あり 忙しそうに帰る
- 13:50 ボランティア合計52名
- 14:00 ブルーシート張りの検討をしていた大山町岡田組さんよりブルーシート対応  
OKとの報告あり。第一住宅設備の例を紹介し、確認する。  
早速総務課に連絡。独居老人宅を優先にニーズを送るとのこと。嬉しそう。  
作業は明日からだが雨が心配  
7名が米子市内へ 小屋の屋根修理と瓦礫の撤去作業 14:30帰着  
3名が灘町へ 流し台の撤去 15:09帰着
- 14:30 米子市長が来訪 お疲れの様子  
市内各避難所の避難人数81人(全18カ所うち収容箇所13カ所)  
(11:00現在インターネット情報確認)  
ほとんどのボランティアが出払って静かなセンターであるが、13、14、  
15日の嵐の前の静けさか…?!?!
- 14:50 13、14、15日の「復旧ボランティア大作戦」に備え、各々(ボラ協、  
県の社会福祉協議会)でコーディネーター役を増員しておく体制づくりにと  
りかかる
- 15:00 災害用電話が設置される(2台増設)
- 15:10 ベンチャークラブから物資の支給  
毛布1、軍手30、ちり取り3、ほうき4、お寿司(食料)
- 16:40 世界救世教いずみ教団さんより毛布600枚の用意ありとFAXくる  
ありがたくいただくが、それ以上のほうき、ちりとりはこちらで対処すると  
ファックスにて返信する
- 18:10 本部用電話35-4057が設置される。
- 18:30 ろうあ者救援対策本部より地震後のろうあ者に対しての対応の記録が届く
- 19:00 「米子市災害ボランティアセンターニュース」第6号発行

米子市災害ボランティアセンター本部～災害ボランティア活動記録6日目

\*10月12日(木)

朝から雨となり、野外活動が困難となる…

- 08:00 市内各避難所の避難人数144人(全16カ所うち収容箇所12カ所)  
(17:00現在インターネット情報確認)
- 08:10 米子市内6カ所のブルーシート張り。10名で向かう。雨の為、視察及び訪問のみになる。
- 09:00 日野文化センターにてこどもと遊ぶ会が行われる。しかし、現地で連絡がうまくいかず合流出来ず。10名が参加
- 09:30 別所会長が米子市社会福祉協議会塚田会長に会い、事務局長に協力体制の指示を依頼する。事務局長の件もただすと「私が許可しました」との返事。行き先はハワイであると。「これは決して許せません」という。
- 10:00 両三柳へ4名 瓦礫整理
- 10:00 大山町岡田組さんにシート掛けニーズ5件を依頼。早速現場確認にいくとのこと
- 10:30 角盤町へ3名 ゴミの撤去
- 11:05 灘町へ4名 土砂除去
- 11:30 義方小学校4年生よりほうき、軍手、ちりとりの提供あり
- 11:50 花園町へ4名 灯楼建て直し
- 12:00 市内各避難所の避難人数51人(全14カ所うち収容箇所9カ所)  
(11:00現在インターネット情報確認)
- 12:30 飲み物468本、米子しんまち天満屋様より寄贈  
市営永江団地へ3名 物置の片づけ、ゴミ出し
- 12:45 日野文化センターへ3名 瓦礫の除去作業
- 12:50 日野町へ2名 屋根修理の補助、交通整理。
- 13:00 別所本部長、県社会保健協議会、米子市社会保健協議会とで市役所対策本部において今後の協力体制を討議、確認  
基本的に①市役所ニーズ集約 イ：屋根は行政(自衛隊に依頼)  
ロ：その他はボランティア  
②ボランティアセンターに市職員も参加させ、本部との連絡を深める  
③ボラセンは、ボラ協、県社協、市社協で構成する
- 13:20 奈喜良へ4名 屋根の壊れたソーラー施設を撤去

- 13:25 米子市内へ4名 浴場の崩れた壁の撤去作業
- 13:30 雑巾 20枚、毛布1枚 米子ベンチャークラブ様より寄贈  
奈喜良へ4名 後片づけ  
奥谷へ4名 風呂場の片づけ、ゴミ出し
- 14:00 雑巾寄贈 米子市民の方より
- 14:30 大山町岡田組さんより、確認にいったところ、救急対応が必要な小林さん宅のシーートの張り替えをしたとのこと。
- 16:30 ポカリスウェット240本、県社協より
- 17:00 ほうき 10本、食料の差し入れなどベンチャークラブ様より寄贈
- 19:00 スタッフ本部会議  
明日から始まる「復旧ボランティア大作戦」の確認  
土曜日にはボランティアがかなり集まることが予想される  
2階のセンターだけではスペースが狭いかもしいないので、ふれあいの里の1階のロビーを使用することを検討  
明日朝から準備を開始することに決定
- 22:00 倉吉市内の小中学校のみなさまより雑巾1800枚

#### 「復旧ボランティア大作戦」について

##### 必要性

- ①市が実態調査を始め、その対応が必要
- ②当ボラセン実施の青木・安倍団地の調査で、留守宅が各々40%・70%であったこと
- ③過去の災害の経験から、ボランティアニーズは一週間後に集中するとの情報

##### 対応1

- ①マスコミ等を通じてボランティア募集
- ②米子市J C及びがいな祭出場チームへの呼びかけ
- ③社協関係奉仕団体への呼びかけ（実施せず）

##### 対応2

- ①市・社協。ボラの協力体制づくり
- ②受付等の拡大
- ③受付方法の変更（ハローワークシステム）

米子市災害ボランティアセンター本部～災害ボランティアセンター活動記録 7 日目

\* 10月13日 (金)

- 08:00 「復旧ボランティア大作戦」初日  
早くからたくさんのボランティアの皆さんが集まって、センターは早くもにぎわってきている
- 08:30 永江団地へ2名 あんま機等の撤去
- 08:40 灘町へ2名 ボランティアが撤去した廃棄物の運搬
- 09:30 市からのニーズ票届く  
「送付されたニーズ依頼書の内容は、ボランティアにとって殆ど不可能な作業です。ただし、「訪問するだけはするようにします。」そして、お話を聞いて、報告するという事になりますので、その旨をご了解下さい。」と市対策本部に連絡。
- 10:00 米子市民の方が雑巾13枚を寄贈  
30件のニーズをもって40名のボランティアが出動  
ボランティアにとっての不可能な作業ばかりであるが… (屋根直し・家の傾き)  
気持ちだけでも明るくなってもらえれば…。
- 10:20 市役所より物資支給  
セロテープガッター6台、セロテープ20、マジック (赤) 30, (黒) 28, 模造紙30m3本、(無地) 50枚、カードケース80枚、170枚、30枚。
- 10:50 天満屋さんよりパックジュース500本寄贈  
米子しんまち専門店街さん500mlボトル504本寄贈
- 11:15 鳥取県民の方が雑巾25枚を寄贈  
八束町社会福祉協議会様がタオル数枚寄贈
- 11:30 灘町へ2名 倒れた灯籠の位置修正、扉の修正
- 12:00 「米子市災害ボランティアセンターニュース」第8号発行
- 14:00 貸し布団のニシキ商会さんに電話して、毛布を無料で提供していただけることになる (20枚)
- 15:00 ニーズの減少により、ボランティアの数とギャップが多くなることが予想されるため、「復旧ボランティア大作戦」の中止を決定  
→直ちに遠方からのボランティアやマスコミ関係に作戦中止の連絡をする
- 15:15 日野町へ4名。

- 15:30 大山町岡田組河本さんシート張りを終えて報告に来る。ありがとう。  
7人の社員で3件シート張り、1件老朽によりシート掛け不能。  
尚、他のシート掛けは自衛隊が午前中に完了とのこと。もっと早く頼め!
- 16:35 市役所からの連絡員が「こげんボランティアがやっでごしとうなんて知りませんでしたわ。認識を変えないといけませんな、市としても…」と…。
- 17:30 健康対策課保健婦さんと一緒に、ボランティア9名が避難所まわりへ  
2チームに別れて、すべての避難所をまわる。話し相手とニーズの聞き取り  
を目的に 10:30 帰着
- 18:00 「米子市災害ボランティアセンターニュース」第9号発行
- 19:00 今日のミーティング 明日からの体制について再確認 「復旧ボランテ  
ィア大作戦」中止のため明日からは通常の形でのセンター運営ということに  
する  
米子JCに中止の連絡。「大ボランティア群」を形成していたのに…と怒ら  
れる。
- 23:00 県社協のみなさんと、県外ボランティアでセンターに宿泊してる人たち総勢  
10名で皆生温泉へ 無料開放している天水へ

米子市災害ボランティアセンター本部～災害ボランティア活動記録8日目

\*10月14日(土)

- 08:30 万全の体制でボランティア受付開始
- 08:35 上後藤へ2名 釘打ち
- 08:40 日野町へ3名 応援
- 09:00 復旧大作戦中止にも関わらず受付開始から続々とボランティアが来られる  
富益町へ8名 泥よけ
- 09:25 日野町へ1名 話し相手
- 09:25 福市へ3名 現場調査
- 09:30 岩倉町へ12名 引っ越し
- 09:45 葭津へ2名 片づけ、話し相手
- 09:45 両三柳へ4名 灯ろう片づけ
- 10:05 目久美町へ1名 調査
- 10:30 ベンチャークラブさんよりおにぎりの差し入れ
- 11:00 灘町へ4名 トタン直し
- 11:05 旗ヶ崎へ1名 クーラー取り付け手伝い
- 12:00 「米子市災害ボランティアセンターニュース」第10号発行
- 13:00 この時点までの今日のボランティア52名
- 13:15 下安曇へ10名 ブロック運搬
- 13:15 上安曇へ4名 墓石立て直し
- 14:05 本通り商店街へ1名 片づけ
- 13:30 ふれあいの里避難所へ2名 話し相手
- 16:00 車尾へ5名 調査
- 17:30 「米子市災害ボランティアセンターニュース」第11号発行
- 18:00 本部会議 明日災害ボランティアセンターの閉鎖を確認  
午前中はニーズの対応をして、午後1時の本部会議で最終確認  
することに

米子市災害ボランティアセンター本部～災害ボランティア活動記録9日目（最終日）

\*10月15日（日）

- 08:00 ふれあいの里避難所へ2名 送迎補助
- 09:00 大篠津町へ3名 調査（ガレキ）
- 09:10 糺町へ3名 調査（土のう）
- 09:30 大篠津町へ8名 ガレキ撤去
- 10:05 日野町へ3名 応援
- 10:30 ベンチャークラブさんよりおにぎりの差し入れ
- 11:00 情報  
昨日日野町では400名を越えるボランティアが集まる  
今日も300名で活動中
- 11:30 ボランティアセンター解散を検討  
ボランティア協議会で検討の上  
ニーズが上がってこなくなっているため
- 11:40 日野町へ2名 応援
- 11:50 角盤町へ2名 片づけ
- 12:00 「米子市災害ボランティアセンターニュース」第12号発行
- 13:00 本部会議
- 13:30 解散を決定  
今後の対応について検討  
今後は米子市ボランティア協議会が分担して心のケアなどの活動を継続  
センターには各委員会で午前8時半から午後5時まで交代で入ることに  
する。  
→会議終了後、残っているボランティアとスタッフ全員でセンター  
の片づけ作業 約20名で →以後、各自それぞれに解散
- 14:00 寺町へ20名 庭掃除、墓石の欠片掃除
- 15:00 寺町へ10名 墓石清掃の手伝い 17:00 帰着
- 18:00 「米子市災害ボランティアセンターニュース」第13号（最終号）発行